



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《米国MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)市場概況》

	MLP		米国株		米国REIT		米10年国債 利回り	WTI 原油先物 (ドル/バレル)	ヘンリーハブ 天然ガス先物 (ドル/百万 BTU)
	トータル リターン指数	予想配当 利回り	トータル リターン指数	予想配当 利回り	トータル リターン指数	予想配当 利回り			
2020年12月31日	812.30	11.11%	7,759.35	1.54%	20,258.86	3.36%	0.91%	48.52	2.54
2021年2月26日	926.58	9.32%	7,892.81	1.57%	20,795.58	3.35%	1.40%	61.50	2.77
2021年3月31日	990.61	8.70%	8,238.48	1.50%	21,944.84	3.19%	1.74%	59.16	2.61
前月比	6.9%	-0.62%	4.4%	-0.07%	5.5%	-0.16%	0.34%	-3.8%	-5.9%
年初来	22.0%	-2.41%	6.2%	-0.04%	8.3%	-0.17%	0.83%	21.9%	2.7%
前年比	103.1%	-10.67%	56.4%	-0.89%	34.2%	-1.51%	1.07%	188.9%	59.0%

(出所)ブルームバーグ

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE NAREIT All Equity REITs Index、すべて配当込み

《先月の米国MLP市場の動き》

3月のアレリアンMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)指数は、上昇しました。

上旬は、新型コロナウイルスのワクチン普及により経済活動の正常化が進むとの見方が広がったことから、MLP市場は上昇しました。主要産油国が協調減産の維持で合意し、需給改善期待から原油価格が上昇したことも、MLP市場のサポート要因となりました。

中旬は、欧州などで新型コロナウイルスの感染が再拡大し、景気回復の遅れが懸念されたことなどから、MLP市場は下落しました。

下旬は、欧州での景気回復の遅れに対する懸念に加え、米国債利回りの上昇などを背景に、MLP市場は上値の重い展開となりました。

《米国MLPトータルリターンおよび配当利回りの推移》

MLP・米国株・米国REITのトータルリターン指数

(2019年末=100)



MLP・米国株・米国REITの配当利回りと長期金利



(出所)ブルームバーグ (期間)2020年1月2日～2021年3月31日

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE NAREIT All Equity REITs Index、すべて配当込み

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したのですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

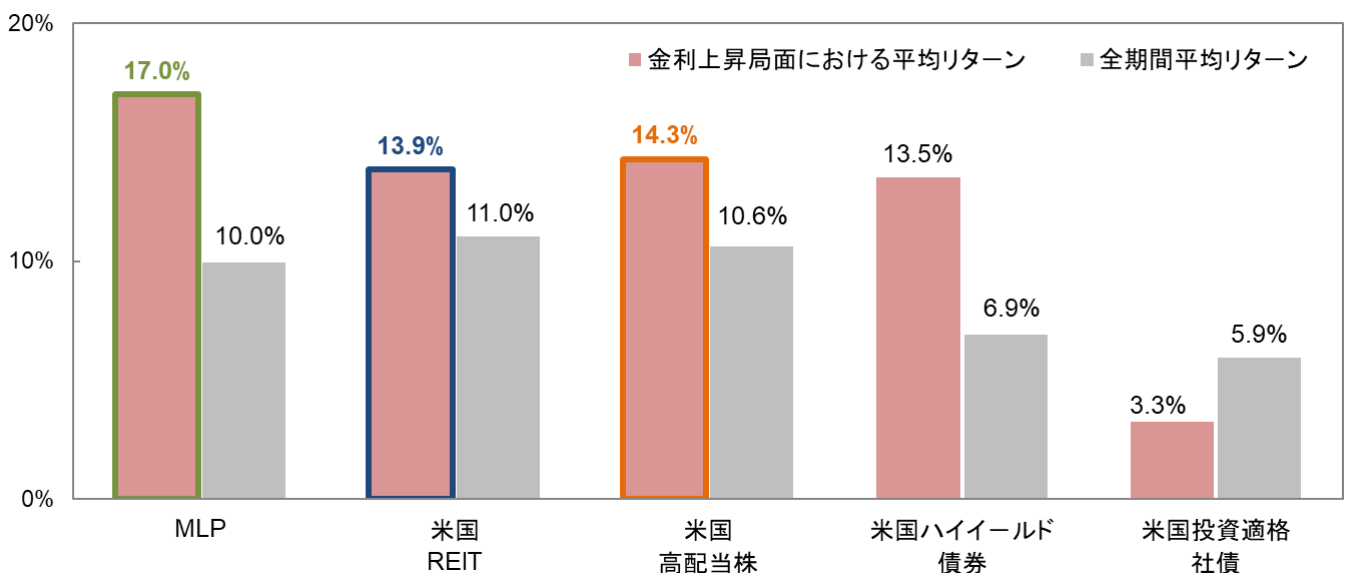
《先月の米国MLP・中流エネルギー企業関連ニュース》

- (3月5日)米大手石油会社Chevron社(CVX)は、Noble Midstream Partners LP(NBLX)を完全子会社とする合意を結ぶ。取引は2021年4-6月期に完了予定。
- (3月12日)パイプライン輸送・エネルギー貯蔵等の中流エネルギー事業を行うKinder Morgan社(KMI)は、低炭素エネルギー輸送に関する事業機会を分析・検討する社内グループを立ち上げたことを公表。
- (3月22日)主に北米において原油・天然ガス・水関連の中流サービスを提供するOasis Midstream Partners LP(OMP)は、インセンティブ配当権(IDR)を廃止する資本構造の簡素化策を公表。
- (3月25日)米国およびカナダで天然ガス貯蔵・輸送業務およびNGL(天然ガス液)・原油サービス事業を手掛けるCrestwood Equity Partners LP(CEQP)は、GP持ち分の買戻しを実施。さらに、1億7,500万株規模の自社株買いプログラムを公表。

《金利上昇局面におけるMLPのパフォーマンス》

- 米国景気の回復期待から、米国債利回りが上昇傾向にあります。過去においては、MLPおよび中流エネルギー事業者は資本市場で資金調達し成長の源泉としていたため、金利上昇はネガティブに作用する局面もありましたが、現在においては負債削減が進み資本市場への依存度が低下していることから、財務上における悪影響は少ないとみています。
- MLPを含めた米国の利回り資産について、2000年からの長期平均リターンと長期金利が上昇した期間の平均リターンを比較してみると、金利上昇局面における平均リターンの方が全期間の平均リターンよりも高かったことが分かります。過去の金利上昇局面は良好な景気の状態を反映したものであり、企業業績が景気回復とともに改善したことから、株価が上昇したものと考えられます。

過去の金利上昇局面における各資産のリターン（年率）



(出所)ブルームバーグ

※米国金利上昇局面は1年以上の期間において、米10年国債利回りが1%以上上昇した局面

※金利上昇局面における平均リターンは、1999年12月末～2021年3月末の内の金利上昇局面における各資産のリターンを年率換算。全期間平均リターンは、1999年12月末～2021年3月末の各資産のリターンを年率換算。※MLP:アリアンMLP指数、米国REIT:FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、米国高配当株:S&P高配当貴族指数、米国ハイイールド債券:ICE BofA・US・ハイイールド指数、米国投資適格社債:ICE BofA・US・コーポレート指数、各指数は配当込み(米ドルベース)

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したのですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。